

地域の声 - 郷土愛あふれるおもてなし -

各停車駅でのおもてなしに取り組む地域の方々にお話を伺いました。



東に名刹箬蔵寺、西に不動明王の密厳寺、南に四国三郎吉野川、信仰心厚く自然に恵まれ、日当たりよく水と緑で空気が新鮮なここ箬蔵を観光列車「四国まんなか千年ものがたり」が通過します。幼児からお年寄りまでの福祉施設の池田博愛会があり、健康で安心安全な里「箬蔵福祉村」から三好の元気を発信します。

【阿波池田駅】
箬蔵福祉村
福田 敬二 村長

土讃線開通 80 周年を祝い開催した「やましろ狸まつり」を契機に地域の将来をみんなで考えるようになり、狸の伝説を生かしたまちおこしに取り組んでいます。ここに訪れた観光客の方に駅から降りてもらい、喜んでもらえるような取り組みを行い、地域の宝を生かした川口駅ならではのおもてなしを通じて地域を知ってもらい、皆が元気になるようがんばっていきます。



【阿波川口駅】
やましろ狸な会
大野 昌彦 会長



私たちは大歩危駅を「みんなが交流できる憩いの場」として盛りあげようというメンバーです。今回、観光列車を機に大歩危駅に降りられた方が、ここで「笑顔」になって、大歩危・祖谷の旅をのんびり楽しんでいただけるようにぎわいづくりに取り組んでみたいと

【大歩危駅】
JR大歩危駅活性化協議会 思います。
山口 頼明 会長

手作り看板などで歓迎します ▼井川町の有志の皆さん（佃駅）



▲地元農家民宿による大旗の掲揚 ▲井川町末地区の皆さん。「幸せの黄色いハンカチを振って歓迎します」

JR 四国 - 地域の魅力を発信していきます -

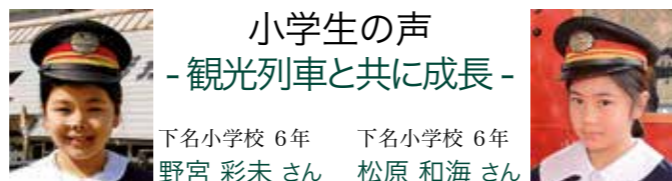


阿波池田駅長兼大歩危駅長小川芳弘さんとアテンダントの皆さん
「安全・安心・信頼をモットーに、笑顔でおもてなし致します」



千年ものがたり
企画室
薦 利次 室長

観光列車「四国まんなか千年ものがたり」は、日本のたたずまいを感じさせる車両、地元食材をふんだんに使った食事、アテンダントのきめ細やかなサービスで、お客様には笑顔でお楽しみいただけたらと思います。そして三好市の皆さんに愛され、親しまれる観光列車を目指してまいります。



下名小学校 6年 野宮 彩未 さん
みんなで「砂と石の妖怪アート」でエンコを作りました。観光列車で来た皆さんには、大歩危のきれいな景色や自然を知ってほしいです。1日駅長をしてドキドキしました。

下名小学校 6年 松原 和海 さん
大歩危を訪れる皆さんの心が温まればと思い河童の妖怪「エンコ」を砂地に描きました。山城の妖怪のことを紹介できるように地域のこともっと勉強していきたいです。

小学生の声 - 観光列車と共に成長 -

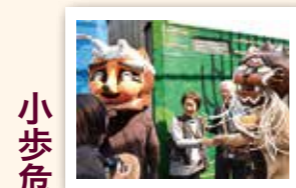


大歩危

【道の駅大歩危】
妖怪の着ぐるみやみかデッキに集合。妖怪村、道の駅スタッフによる旗振り



【大歩危峡まんなか】
6月までこのほりで歓迎
スタッフ、観光客の旗振り



小歩危

【15分程度停車・降車可 ※上りのみ】
「山城おもしろ狸」が集合し、手作り横断幕などでお出迎えとお見送り。駅周辺でオリジナルグッズを販売（土・日）

阿波川口

祖谷川口
三縄



阿波池田

【10分程度停車・駅構内】
池田の伝統芸能「阿波いけだたばこ踊り（第一月曜）や「箬蔵小唄（不定期）」で歓迎。地酒の試飲（土曜のみ）
三野長慶武者行列まつりメニューによる歓迎（不定期）

佃



箸蔵

坪尻
【スイッチバックで駅に入場 10分程度停車】

各駅の歓迎プラン

四国まんなか千年ものがたり
三好市内
各駅の歓迎プラン
●は停車駅
まだまだ募集中!!



箬蔵有志による歓迎（左上）、阿波いけだたばこ踊りによる歓迎（上・中）、妖怪法螺吹き隊や妖怪村のメンバーによる歓迎（右上）おそめ狸、青木藤太郎狸など山城町に残る狸伝説を生かしたおもてなしで観光客をお迎えするやましろ狸な会の皆さん（下）

観光列車が運ぶ新しい風を市の活性化につなげようと、市内各地で地域の皆さまが取り組む温かいおもてなし。あふれる笑顔には、郷土愛と地域の魅力、それぞれの思いや可能性が凝縮されています。

観光列車が運ぶ 地域のチカラ

◇観光列車運行開始

大歩危と多度津間を走るJR四国の新たな観光列車「四国まんなか千年ものがたり」の運行が4月1日から始まり、大歩危駅をはじめ各停車駅では、観光列車が運ぶ新しい風を市の活性化につなげようと、各地域ならではの歓迎やぎわいづくりが行われ観光客をもてなしました。運行開始を祝い大歩危駅で行われた出発式では、JR四国（株）半井真司代表取締役社長らがテープカット。一日駅長に委嘱された下名小学校の野宮彩未さんと松原和海さんの合図で列車がゆつくり動き出すと妖怪法螺吹き隊のメンバーや児啼爺など妖怪たちが手を振って見送りました。上り便のみ停車する阿波川口駅では、山城町に残る狸伝説を生かした町おこしに取り組むやましろ狸な会のメンバーが手作り横断幕や狸の着ぐるみで乗客を迎え、地域の魅力を紹介しました。阿波池田駅では、乗客に地酒が振る舞われたほか、阿波いけだたばこ踊りや箬蔵小唄が披露され、乗客は手拍子を送ったり一緒に踊ったりしました。保存会の眞野保子会長は「踊りの伝統を